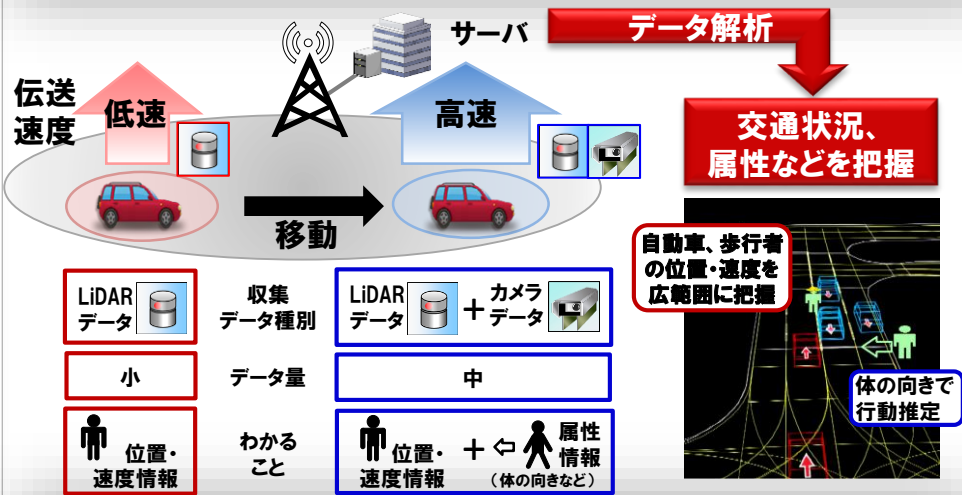


高速・大容量

低遅延

伝送速度に応じた収集データの選択例



交通状況を基に危険状態にさせない推奨行動提案

交差点での推奨行動提案例

- ① サーバは交通状況から、直進車の前方が渋滞のため、交差点を渡りきれないと推定
- ② 直進車には「停止」、右折車には「右折」の推奨行動を提案
- ③ 両車(運転者)が提案に合意すれば、推奨行動に従って通行

概要

- 安全運転支援に向けて、車両及び路側機からの大容量のセンサ情報を5Gにより収集・解析し、交通状況を把握することで、必要な情報を適切なタイミングで車両へ配信する技術を検討
- 変動する通信回線の伝送速度に応じて、大容量のセンサ情報を効率的に収集する方法を検討
- 交通状況から危険推定を行い通知、更には危険状態にさせない推奨行動を提案する、より安全な交通システムを検証

利用シーン

- 建物の陰で見えない歩行者の存在を検知
- 車線はみ出し等による衝突の危険を必要な車両にのみ通知
- 交差点における右折/直進車両に対する推奨行動提案

コラボレーションパートナー

住友電気工業株式会社とは、高度運転支援の実現に向けて5Gと自動車や道路・建造物などの交通インフラに搭載したセンサを活用した実証実験を行っています。

